

# 県共闘

神奈川県共闘ニュース

発行 神奈川県労働組合共闘会議  
住所 〒231-0028  
横浜市中区鶴町1-5-14新見ビル4階  
電話・FAX 045-319-4391  
e-mail kanagawaroudousoudan@gmail.com

2024年  
10月24日  
第37号



県共闘ホームページ  
Kana-kenkyoto.org

第36回全労協定期大会開催される!

## 運動方針決定!2025年へ活動スタート

9月29・30日、全労協第36回定期全国大会が全水道会館を会場に開催された。会場には役員のほか、過半数を超える50人の代議員が出席。(委任状23, 傍聴5人、取材3人) 大会議長には国労と東水労の代議員が選出され議事が進行した。冒頭、渡邊議長の呼びかけで、今年1月に急逝された川端常任幹事への黙とうを出席者全員で行った。来賓挨拶は社民党大橋副党首、中小政策ネット鳥井事務局長、移住連大川共同代表、全労協金澤前議長の各氏からあり、連帯メッセー

ジも紹介された。(2日目冒頭には前日出席できなかった、平和フォーラム曾根共同代表から連帯挨拶があった。)

経過報告は関口事務局長、会計決算報告・予算案提案は久保事務局次長が、監査報告は渡辺監査委員が行った。その後、質疑・討論・報告に移り、2日間で13人の発言があった。その内容は、各地域・単組の活動・闘争報告、脱原発や最賃闘争の取組報告・意見など、今年もJAL闘争についての意見が多かった。関口事務局長の総括的まとめの後、方針案採決の結果、原案が可決された。続いて決議案3本と大会宣言が全会一致で確認された。大会議事終了後、新体制の紹介があり、新常任幹事2名(東京全労協・斎藤氏、神奈川県共闘・小内)の就任の挨拶・決意表明があった。最後は団結ガンバローを全員で三唱して、二日間の大会が成功裏に終了した。(今大会には2日間とも県共闘枠で佐藤代議員出席、小内は傍聴参加した) 神奈川県共闘としては、川端さんの後



(新役員を交えて団結ガンバロー)

任に小内を常任幹事に送り、これまで通りの活動を続けていく。今大会で確認された、最賃闘争、反戦平和運動、脱原発運動等を力強く進めていきたい。

【報告・事務局長小内】



(渡邊議長挨拶)

### 県共闘・第34回定期大会のご案内

裏金、統一教会問題などの政治不信をそのままに、石破内閣は1か月もしないで解散・選挙に走った。とても国民のための政治とはいえない。国民のための政治を取り戻すためにも、県共闘大会を成功させ2025年の闘う方針を確認しましょう。万障お繰り合わせの上ご参加ください。

日時 12月7日(土) 14:30~

場所 神奈川県労働プラザ 4階

### 最低賃金神奈川は1.162円にアップ・新杉田駅前情宣行っ!

10月4日県共闘は、神奈川の最低賃金が1162円にアップしたことを、仕事帰りの労働者、市民に新杉田駅前でも報告情宣しました。夕方5時30分から始まったマイク情宣では、「神奈川最賃が50円アップの1162円になった。全国平均は1055円になったが、このところの食品や食材、公共料金などが値上がりしておやり、実質賃金は目減りし、生活は苦しい。私たちは最低賃金1500円を目指し運動に取り組んでいる。ご支援を!」と訴えました。用意した300枚のチラシはたちまち配布終了となり関心の高さがうかがえました。 報告 佐藤



(新杉田駅前・情宣を終えて)

### ボウリング大会のお誘い

県共闘・恒例ボウリング大会を開催します。初めての方でもハンデ戦なので優勝も…是非ともご参加ください。楽しいひと時を共に過ごしましょう。

日時 11月20日(水) 19:00~

場所 神横浜ヤングボール

会費 3000円



# 横須賀軍港海上見学ツアーに参加して

報告 神奈川ワーカーズユニオン

恒例となった「反戦平和学習会」＝「横須賀軍港海上見学ツアー」が10月6日に開催され、現役労働者夫妻を含む13名の仲間が参加しました。海上見学ツアーは小型船舶に2班に分かれて乗船。「ヨコスカ平和船団」の皆さんの案内により約1時間船上見学した後、基地の抱える問題などについて説明を受け、改めて学び直しました。長浦港には、棧橋建設中の米軍浦郷弾薬庫の他、海自の各施設が点在し、多くの艦船や潜水艦が停泊しています。また、横須賀本港に入ると護衛艦「いずも」(空母)を見ることが出来、海自の基地はここまで。横須賀本港では広大な米軍基地(第7艦隊)の各施設や艦船・潜水艦などを見ることが出来ます。

艦船や潜水艦は日米合わせて数十隻になると思われ、不思議なこと(見学学習会を終えて)に艦船などに人影はなく、警備艇等による妨害もなく、こんなに間近で見ることが出来たことに驚きです。❖学んだこと ①長浦港に建つ立派な外観の「海上作戦センター」には6つの司令部が共存。同敷地内の高層官舎3棟に民間人が居住。②浦郷弾薬庫の保安距離内に500棟の住宅が存在。③港湾管理者は自治体、市民の船を追い出すことはできない。④税金の無駄遣いだと実感。などです。最後に案内役を務めて頂いた平和船団の鈴木さん、新倉さんにお礼申し上げます。



(見学学習会を終えて)

## 2024年 夏祭り開催報告

寿日労 近藤

8月12日、今年の寿夏祭りが始まった！14日までの本番と15日の、この1年間で亡くなった仲間を偲ぶ物故者供養で締めくくる寿町の夏のお楽しみだ。前日朝からの会場作りも工夫がこらされている。例えば12日のカラオケ大会に向けたステージ作りでは車イスのまま舞台に上がれるようにスロープが作られた。いつも「さざんかの宿」を歌うIさんも当日は御満悦で歌っていた。

また、今年も県共闘と全国一般神奈川からカンパしていただいた10個のスイカが12日の仲間の店(お金がなくとも楽しめる無料模擬店)と13日の子ども行事のスイカ割で提供されたことも合わせ報告し感謝としたい。

うだるような暑さが続く中、ヘトヘトになりながらも行事は続く。14日は子ども縁日とセンター広場前でのフリーコンサート。出演バンドは「渋さ知らず」で広場を埋め尽くす若者たちが汗だくになって踊っていた。そして最終日の物故供養と線香の煙と読経が流れる中、先に逝った仲間を思いだしながら静かな雰囲気の中で今年の夏まつりは終わった。



(カラオケ大会・聞き入る人々)

## 学校事務職員労働組合神奈川(がくろう)

定期大会開催 報告 宮沢

がくろう神奈川は去る7月23日、第28回定期大会を開催した。今年の大会は長引くインフレ状況や岸田内閣による大軍拡政策が推し進められる中で行われ、民間春闘情勢に対応した賃上げの実現、反戦平和の闘い、さらに学校事務の合理化や業務改悪に抗う闘争方針を確立した。

学校事務の現場における臨時的任用職員の無期転換権確立(常勤化)の課題や有給病気休暇付与日数の拡充についても方針提起された。また、会計年度任用職員制度は今年で制度導入から5年目を迎えた。当初の制度では5年超の再度の任用が困難とされていたが、制度改善への幅広い取り組みの結果、今年度から国の会計年度任用職員に関してはこの上限が撤廃されることとなった。地方自治体がこうした国の制度改善に準じるか否かについて各自自治体ごとに対応が分かれてしまっていることから組合としても当局に対し、再度の任用に関わる上限規制を撤廃させるよう取り組むことが確認された。

学校事務の職場にも「事務長」という職制のような制度が導入されたり共同学校事務室、事務連携などという合理化攻撃が行政当局によって推し進められている。賃金の階層化(抑制)、労働強化を打ち破る闘いを作っていく一年にしていきたい。



## 全国一般神奈川第27回定期大会開催

報告 書記局

9月22日、私たち全国一般神奈川は、かながわ労働プラザで第27回定期大会を開催し、会場は約50名の組合員が参加し大会は始まりました。

委員長挨拶では「結成以来四半世紀、地域、全国の仲間の支えと組合員の協力のもと、地域合同労組として、多くの権利侵害と闘い、裁判、労働委員会を取り組んできたが、格差・分断が進む社会情勢の中、これからの10年を見据えた全国一般神奈川の運動、組織運営の取り組みに繋いでいきたい」と挨拶。続いて、2023年度のテクノウェーブ、ビステオンの権利侵害・解雇や24春闘の取組みなどの活動の総括確認、そして24年度の権利侵害と闘い、全ての争議に勝利すること、生活破壊を許さず25春闘を闘うことを柱とした運動方針を決定、合わせてストライキ権を確立しました。

世界戦争と対立の深まり、地球温暖化、国内は自公政権が進めてきた異次元の金融緩和による円安、諸物価高騰、実質賃金の低下が続いています。

「貧困と戦争への道」に直面している今、私たちの雇用と生活を守っていくために、全ての組合員が知恵を出し合い、模索しながら次の10年を見据えた運動をこの神奈川でともにつくっていきましょう。



(2025年活動方針の提案)